



「快適なまちづくりに向けて」

皆野町長 石木戸 道也

新年明けましておめでとうございませう。

町民の皆様におかれましては、ご家族おそろいで新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年中は、町政進展のためご支援ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

国におきましては、鳩山首相の辞任により菅新内閣が発足し、長引く経済不況に対する景気回復策を図っていますが、なかなか実感できない状況が続いています。また、尖閣諸島、北方四

島の領土問題、普天間基地移転、北朝鮮の韓国延坪島への砲撃、そして厳しい雇用状況、深刻な財政赤字、TPPなど、安全保障、経済、財政問題など内政、外交課題が山積しています。

このようななか、小惑星探査機「はやぶさ」の7年間、60億キロの奇跡の帰還、鈴木章、根岸英一両教授のノーベル化学賞

同時受賞やアジア大会女子100m、200m金メダルの福島千里選手の2冠達成の快挙などに、日本国民は歓喜と感動に沸きました。

当町におきましては、4月の町長選挙において多くの皆様方のご支持をいただき4月23日から2期目が始まりました。

「住みよい町づくりをめざして」

皆野町議会議長 四方田 実

新年明けましておめでとうございませう。

町民の皆様方には、ご健勝で新春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、春先の寒波そして猛暑の夏と、農作物に大きな影響がありました。国においては、民主党中心の鳩山内閣が「普天

町長選挙において多くの皆様方のご支持をいただき4月23日から2期目が始まりました。

これからは「楽しく子育てができるまち」「元気で長生きができるまち」「安心して快適な生活ができるまち」を基軸にしたまちづくりに積極的に取り組んでまいります。

新年度におきまして、ガンのなかで唯一ワクチンで予防できるとされる子宮頸ガンについて、皆野中1年生から3年生を対象に、子宮頸ガン予防ワクチン無料接種を実施して、若い女性の命と健康を守ってまいります。

また、秩父地域1市4町で進めている、ちちぶ定住自立圏構想において、医師、医療スタッフの確保、救急医療体制の充実などを始めとする協定19項目を協

働して引き続き推進してまいります。また、子どもたちが元気で楽しく遊べる子ども遊園地の整備を進めるとともに、安全で安心して学べるよう学校施設の耐震化工事も継続して推進していきます。

永い年月道路改良が滞り緊急車両等の通行も難しかった路線の解消に向けて、地権者等のご理解をいただきながら引き続き道路整備に取り組みまいります。その他、健全財政を堅持しつつ現在の制度、事務事業を充実し、積極的に取り組んでまいります。

本年も町民の皆様のご指導とご支援をお願い申し上げますと共に、益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

付税が配分されました。また、県内で最高といわれている水道料金も本年埼玉県水道ビジョンが策定され、広域的水道整備計画がたてられますので、大きな期待をしております。議会といたしましても「住みよい町づくり」を目指し全力で取り組む所存でございます。町民の皆様のかわらぬご指導、ご鞭撻を願ひ申し上げますとともに今年が良い年になりますようお祈り申し上げます。

間基地」「政治と金」などの問題で退陣し菅内閣が誕生し、7月に参議院選挙が行われました。

結果は、民主党が大きく後退し、衆参ネジレ国会となっています。

地方にとっても政治、経済、雇用、教育など諸問題に大きな影響がありますので、政治の安定が望まれるところです。そんな

中で明るい話題として、宇宙飛行士の山崎直子さん、野口聡一さんの宇宙での活躍、北海道大学の鈴木章教授、パデュー大学の根岸英一教授のノーベル化学賞受賞、横綱白鵬の63連勝などがありました。

町においては、新皆野橋が開通し3世代の夫妻を先頭に渡り初めが賑やかに行われました。また、定住自立圏構想の一環として、救急医療体制の充実を図るため、皆野病院、秩父市立病院、秩父病院、小鹿野中央病院などの医療機関に1億2千万円の定住自立圏特別交

賀正

